

# シャッターのお手入れ方法

## 注意

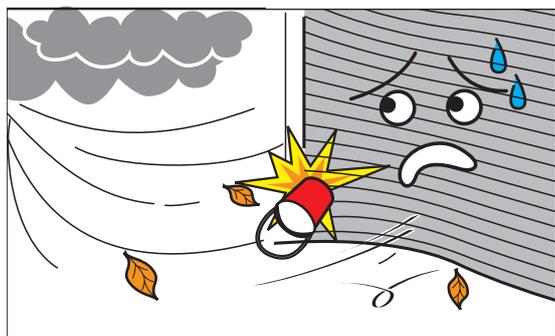
- ・押しボタンスイッチや障害物感知装置など、電装部品に水がかかると、故障の原因となります。
- ・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉などの硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
- ・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので、使用しないでください。



雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早めます。カーテンおよびガイドレールが汚れた場合は、濡れた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分を拭き取ってください。



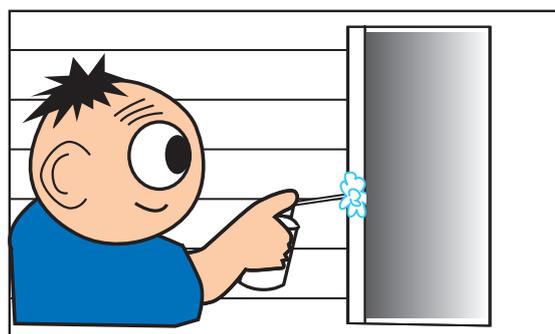
水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用した後、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。



強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、出来るだけ早い時期のお手入れが必要です。



ガイドレール底部には泥などがたまりやすいため、一週間に一度くらい掃き出してください。



泥、ほこりなどがつくると開閉時に音が発生する場合があります。カーテンとガイドレールの間文化シャッター製シャッターオイル（別売）または市販されている鉱物油を使用してください。（オイルが付きすぎた場合は拭き取ってください）